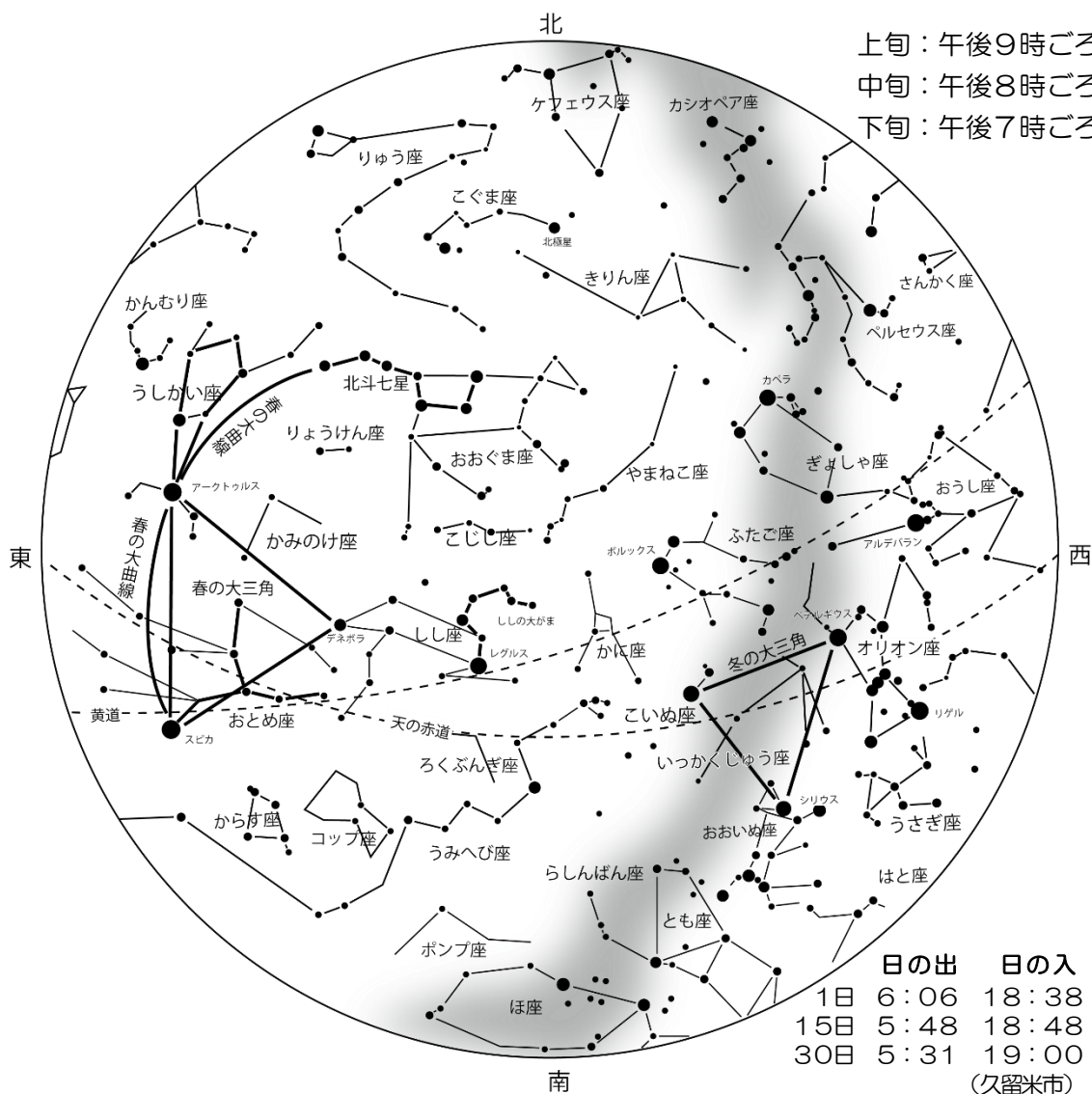


令和4年 4月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



★4月の星空案内

今月は南から東の空にかけては春の星座を見ることができます。春の星座探しは、北の空に見えている7つの星でできる「スプーン」のような星の並び“北斗七星”から始めます。北斗七星はおおぐま座の背中からしっぽにあたる部分です。北斗七星を「スプーン」に見立てたとき、持ち手のカーブに沿って南へのぼしていくとオレンジ色に輝くうしかい座の1等星アークトゥルス、さらにのばすと、白色っぽく輝くおとめ座の1等星スピカが見つかります。うしかい座はアークトゥルスから北側にのびる「ネクタイ」のような星の並びが目印で、おとめ座はスピカから「アルファベットのyの字」のように結んだ星の並びが目印です。北斗七星からスピカまでの夜空に描かれる大きなカーブは『春の大曲線』といい、春の星座探しのよい案内役です。また、アークトゥルスとスピカ、しし座の2等星デネボラを結んでできる三角形は『春の大三角』といいます。デネボラの西の方で輝く1等星は、しし座のレグルス。しし座はレグルスから頭の真上あたりにのびる「？」マークを裏返したような星の並び“ししの大がま”が目印です。ししの大がまは、ししの頭から胸にあたる部分で、デネボラは尻尾にあたる部分です。

春の夜空に描かれる大きなカーブ『春の大曲線』をたよりに、春の星座探しを楽しんでみてはいかがでしょうか。

【見ごろの惑星】 (☆マークは、今月のおすすめです。)

- ☆水星(-1.2等前後):うお座→おうし座付近 日の入り後、西の低空で輝く。(下旬)
- ☆金星(-4.3等前後):やぎ座→うお座付近 日の出前、南東の低空でひときわ明るく輝く。
- ☆火星(1.0等前後):やぎ座→みずがめ座付近 日の出前、南東の低空で赤っぽく輝く。
- 木星(-2.1等前後):みずがめ座→うお座付近 観察に適していない。
- ☆土星(0.8等前後):やぎ座付近 日の出前、南東の空で輝く

注目の天文現象(4月) ~今年一番のチャンス!水星の観察に挑戦しよう~

水星は地球から見ると太陽から大きく離れることがないため、観察するのが難しい惑星です。そんな水星を観察しやすいのは、最大離角(地球から見て太陽の方向から最も東や西に離れる時)の前後です。4月29日に東方最大離角となる水星は、日の入り後の西の空で見つけることができます。日の入り直後の明るい空では見つけることが困難なため、日の入り30分後くらいから探してみると良いでしょう。2022年中に東方最大離角となるのは、あと8月28日、12月22日の2回ありますが、日の入り30分後の高度が最も高くなるのは今回ですので、西の空で水星を観察できる今年一番のチャンスだと言えます。しかし、今年一番のチャンスとはいっても、久留米では日の入り30分後でも高度は13度程ですので、西側が地平線近くまで開けた場所で、日の入り後30分から1時間をかけてじっくりと観察をしてみましょう。

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
1	金	● 新月 (15:24)	23	土	4月こと座流星群が極大(4時) 【条件:良】 ● 下弦 (20:56)
9	土	☾ 上弦 (15:48)			
17	日	○ 満月 (3:55)	29	金	水星が東方最大離角